

本気、夢道

～夢に向かって限界突破～

令和8年5月11日 第6号

「生命」が繋がっているのは奇跡の連続

4月28日(火)の道徳の授業で「エリカ - 奇跡のいのち - 」という題材から「生命を繋ぐ」をテーマに考えました。授業の最後に皆さんが書いてくれたものを紹介します。

【あらすじ】第二次世界大戦中、強制収容所にユダヤ人を送る列車内での親子を回想する形で描いた作品。「死」へと向かう列車内で、母親がした決断は…。なぜ主人公である「エリカ」は生き延び、その命を後世に繋げることができたのでしょうか。

今生きていることは当たり前なんかじゃなくて、奇跡なんだなと思った。これから色んなことがあるだろうけど、産んでくれた親にも周りの人にも感謝しながら生きていきたいなと思った。

どんな人種であっても全員同じ人間だから、差別などをせず平等に接していけば、二度とこういうことは起きないと思う。

命は人から人へ一生懸命につないだものだなと思った。これからは親がくれた自分の命を大切にしていきたい。

死ぬのが確定したとしても、周りが助かるように行動するのはとてもいいことだと思う。もしかしたら、助けた人が幸せに生きてくれたりするかもしれないので、助けることに損はないと思う。

生命は受け継がないと繋がっていないから、エリカを投げたのは、「生命を繋ぎたい」という判断からだと思う。

一つの命を繋げさせていくためには、勇気や諦めない心が大切だと思いました。

今幸せに生きているのは親や身の周りの人たちのおかげなんだな、と感じた。

両親が大事に育ててくれた命を、今度は育ててもらった自分が命を繋いでいく番だと思う。

命が生まれることはかけがえのないことだから、大切に生きていきたい。人生を大切にする。

命は血がつながった人だけでなく、血が繋がっていない人でも守ることができる。本当の親じゃないかもしれないけど、大切にしたいと思った。

一つの命をつなげていくためには、勇気や諦めないことなど一生懸命に生きていくことが大事だと思った。

親は自分を産み育ててきてくれた。幸せなことだから、生きていく中で親に感謝をしながら生きていきたい。

命は大切に、一人一人がかけがえのないものなのに、それを踏みにじったナチスを始めとした各国はおかしく、やはり戦争は駄目なものだなと感じた。彼女はユダヤ人としての誇りをもっていて、とてもカッコよくすごいことだなと感じた。

やっぱり命は大切なものだと思います。戦争では何万人の命が奪われているけど、その一人一人に注目すると家族だったり大切なものだったり、思いがあるのだから、簡単に命を奪ってはいけなかったと思います。

ヒトラーがユダヤ人を絶滅させようとしていた時代、親の愛でつなげた命があった。

生きていることは素晴らしく偉いことだが、命をつなげていくことで、「命のリレー」をしている。

命はすべて平等であり、どんな状況下で生まれてもみんな助け合って一生懸命生きることが大切。

自分がこうやって元気で、ご飯も食べられて、友達と遊んだり、サッカーしたりできるのは奇跡だと思います。たまたま今の平和な時代に生まれて、今の友達と会えたすべてが奇跡の連続だと思います。だから、もっと幸せを感じながら毎日過ごしていきたい。

自分が今生きているのは、今までたくさんの人が繋いでくれた命だと分かった。戦争などで命を無駄にしている人がいて、とてもいけないことだと思った。

間違えた道を進んでいくと良いことはないけど、良い道に進んでいくと良いことがあって、選ぶ道で、未来が変わるということがわかった。

自分の命は思っている以上に色々な人に支えてもらい、その中でも家族が一番傍で見守ってくれているから、もらった命は大切にしていきたい。

命とは、人と人が支え合っていて、これから先の未来で活躍するとても貴重で大切なものということが分かった。だから、その生命を踏みにじるようなことは決して許されないし、簡単に切り捨てていいものではないもの、ということが分かった。

エリカさんも自分も、生きていく上で色々な人に支えられていて、これが繋がっていくんだなと思った。今普通に過ごしているのはありがたいことだと思った。

「投げる」「拾って育てる」など一つもできていなかったら、エリカはもういなかった。一つ一つの選択を大切にしようと思った。親、おばあちゃん、おじいちゃん、色々な人のおかげで今ここに居るから、それをしっかり理解してこれからの学校生活・家での生活を頑張る。

このお話の時代に比べると、今はとても平和だけど、今生きているのは当たり前なことじゃなくて、周りの環境や色々な人に支えてもらっているからなんだな、と思った。周りの人にいっぱい感謝して生きていきたい。

お母さんやお父さんも自分でいっぱいいっぱいだ、と思うのに、自分の子をどうにか生かそうと絶対に覚悟がある判断をしたのがとてもすごいなと思った。自分だったら、「もし誰にも拾ってもらえなくて、死んでしまったら。」とか「今投げるのが本当にこの子にとって良いことなのか。」と覚悟が決まらないと思うから、親の愛はすごいと思った。未来には、エリカさんの大きくなっていく姿を見られたり、幸せな生活があったりしたはずなのに、全部捨てなければいけないのがとても辛いことだな、と思った。もう二度と、こんな思いをしてしまう人がいない世界になって欲しいと思った。

親からもらった命を大切に生きていきたいし、自分に子どもができればその命を大切にしたい。さらに自分の子どもが結婚し、子どもができれば大切にする、の繰り返しでどんどん命が受け継がれていく。

命を助けてくれたお母さん・お父さんの生と死の判断を、勇気を出して、命がけでエリカを助けようと思ったことがすごいと思ったし、娘だけでも助かってほしいという思いが伝わった。

人が生きていくためには、色々な人の助けや協力があってこそ「命」だと改めて感じました。強制収容所に送られた人なども、一人一人に家族がいて幸せな時間をすごしていたのに、理由があってもなくても殺してはいけないと強く思いました。

今生きていることは当たり前ではなく、自分が思っているよりもたくさんの人に支えられて生きている。もっと感謝をしながら生きていきたい。

絶対的な権力をもつ指導者のもとで男性だけでなく、女性や子どもまで惨たらしく殺害されるのは悲しいし、それらを引き継いだ子孫の方々の言葉というものは、とても重たく大切にしていきたいものだと思った。このようなことは繰り返してはいけない。

外国人、他の民族の人の命、どれもとても大切なものだから、自分の命を大切にするのはもちろん、周りの人たちにも思いやりをもって生きていく。

自分たちのために色々な人たちが協力し合っていて、今生きているんだと思った。今生きていることに感謝し、いつも支えてくれている人にも感謝をしたいです。

今日本は平和だし、私が今ここに居るのも、両親、おじいちゃん、おばあちゃんや先祖の人たちが戦争や災害から生き延びくれたから。この話を聞いて、改めて「命」は言葉に表せられないくらい素敵で、大切だと思った。

今、勉強などして普通に暮らしているが、昔は戦争がたくさんあって、その中で命を繋いでくれたことに感謝しながら生きていきたい。

違う国・地域に住んでいる人、過去に起こったできごと、傷ついた人たちのことを、知ったり学んだりして、「ひどい」「許せない」など自分のことのように感じられる感性をもっていることを改めて知ることができました。そして、感じるだけではなく、その人たちに寄り添える心をもっているあなたたちのことを嬉しく思いました。

現代で起きているできごとをすべて知ることは難しいと思いますが、見逃さずにいろんな立場にいる人のことを考えてほしいです。助けを求めている人や、しんどい立場に立っている、立っていきそうな人たちについて気づける人になってほしいです。今もっている感性をなくさないでください。